

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市私立保育会	
施設等名	はるみやこども園	
取組の名称	6月のテーマ 「食べ物に感謝する」	7月の取り組みにつなげていく 「食育フェスティバル」
実施時期	6月	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☒ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	海外にルーツのあるお子さんも複数在籍しているので、世界の様々な料理を視覚、味覚、嗅覚で体験できる機会を定期的に取り入れている。 また、日本の文化も大事にしており、郷土料理や夏至メニューなど、季節に応じた献立も取り入れている。 子ども達の好きな絵本の中に出てくる料理を実際に食べる機会を持つことで、絵本のイメージと実感が繋がり、よりお話の世界を楽しめるようにしている。 就学を控えた年長クラスでは、学校風給食を取り入れることで就学へのイメージを深めたり、期待を持って進学できるような工夫をしている。 ・世界の料理 6/7(金) オーストラリア “ウィンナーシュニッツェル” ・絵本で食育 6/11(火) 『たまごとにわとり』 “ホットケーキ” ・郷土料理 6/18(火) 岩手県 “じゃじゃ麺” ・夏至給食 6/19(水) “冬瓜スープ” ・小学校風給食 6/20(木) パック牛乳(年長クラスのみ)	



はるみやこども園
Instagramより

食育月間の取り組み

所属団体名	社会福祉法人公共社会福祉事業協会	
施設等名	たかいだこども園	
取組の名称	夏の食材を知っておいしく食べよう！ (夏の食材を見て触れておいしくいただく)	
実施時期	6 月	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☒ 食品ロスの削減 ☒ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	《食と健康》 ・季節の食材を使用し、誕生会・行事食・盛り付けを工夫することで、食に興味を持ち、楽しく意欲的に食べる。 □□絵本給食□□ <u>『ぐりとぐらのえんそく』の絵本をテーマとしたランチメニューを提供。</u> 子どもたちがより、興味関心・期待を持てるように、クラスでも絵本を楽しんだり、絵本やメニューに関するイラストなどを調理室前に掲示し、送迎時にも親子での会話を楽しみながら当日を迎えました。絵本から出てきたようなランチメニューに喜びながら「おいしいなあ〜♡」と笑顔いっぱいおなかいっぱいいただきました。 《食と文化》 ・郷土料理など地域の食材や料理を通して文化に触れる。 🍡<u>生節の押しずし(東大阪の郷土料理)</u> 東大阪の郷土料理「生節の押しずし」。毎年の恒例メニューでもあります！子どもたちも食事することを通して自分たちの住んでいる地域の文化にも少しずつ興味を持っていました。 ・旬の食べ物について知り、おいしく食べる。 🍷<u>梅ジュースづくり(4・5 歳児)</u> 旬の青梅を使い、子どもたちと共に、梅ジュースづくりをしました。青梅と氷砂糖がおいしくなるよう、友だちと力を合わせて瓶を振ってくれたり、どのように変化していくのか、毎日のように観察したり、出来上がりをとても楽しみにしていた分、飲んだ時は「おいしい〜〜！！」と大興奮の子どもたちでした。	



食育月間の取り組み

所属団体名	集団給食研究会 ・ 東大阪私立保育会	
施設等名	幼保連携型認定こども園 むぎの穂保育園	
取組の名称	・歯の健康と共食について ・野菜の栽培とクッキング	
実施時期	6 月(通年のものを含む)	
取組みの目的	☒ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☒ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	給食室から 給食だよりにて「歯と口の健康週間」をテーマに歯の健康に良い食べ物を紹介、よく噛んで食べることの大切さを伝え、給食献立によく噛むメニューをいくつか取り入れた。 また、共食の推進として、栄養士が給食の時間に各クラスを巡回し、子どもたちと一緒に食事を摂りながらマナーを伝え、食材の話をして苦手な食材にチャレンジ出来るよう声をかけるなど「食事＝楽しい時間」となるよう、食べる意欲を育む活動の実施についても給食だよりを通じて保護者に伝えた。 保育の中で 毎年 6～7 月頃、夏野菜の栽培と収穫・調理の一連の活動を子ども主体で行っている。自分たちで調理して食べることで、苦手な野菜も食べることができて、子ども自身驚いている。また、年長児は夏のゆうイベントの中で夕食作りを楽しんでいる。どの子ども自信がついて家でもお手伝いを好んでしているとのこと。	

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市 私立 保育会	
施設等名	はるか 保育園	
取組の名称	保育園での食育	
実施時期	令和 6年 4月～ 令和 6年 6月	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☒ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☒ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☒ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	① バイキング給食（5才見対象）月1～2回実施 誕生会や行事食を バイキング形式で子ども達も自分の食べる分量を取り分けたり 色とりも考慮してお皿に盛りつける。 ② 日々の給食とおやつを降園時に見て確認 いたたけ子のように給食室前に展示している ③ 食育たいりど献立表を月一回発行している。 ④ いちご狩り（4.5才見対象）（園外保育） ビニールハウス内で栽培されているいちごを自分達で収穫して 甘い、すっぱいなど色々な味を楽しんだり観察する ⑤ 離乳食 離乳食がスムーズに進められよう 調査表を定期的に提出してもらい個々の南大立に反映させている。	